

# 千葉大学病院にて帝王切開術をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年06月20日

周産期母性科

周産期母性科では、帝王切開における子宮切開創の縫合方法に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2018年01月01日～2022年12月31日の間に当院で2回目の帝王切開をされた方

### 1. 研究課題名

「千葉大学医学部附属病院における Gambee 縫合の有用性に対する後方視的観察研究」

### 2. 研究期間

2023年承認日～2024年03月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

### 3. 研究の目的・方法

帝王切開を施行した場合、次回妊娠において子宮破裂や癒着胎盤のリスクが上がります。子宮破裂のリスクの一部は、帝王切開時に切開した部分の筋層が治癒する際に、その薄さによって評価可能と考えます。この研究では、子宮の縫合方法の違いにより、次回妊娠時に子宮切開創の薄さに違いが現れるかどうか評価します。また、子宮の縫合方法の違いによって、次の妊娠時に癒着胎盤の発生頻度に違いが現れるか評価します。今回の研究では4に記載した患者さんの情報を収集し、帝王切開時の子宮縫合方法の違いから、次の妊娠時に胎盤が癒着する発生頻度に違いがあるかを確認します。この研究から、よりリスクの低い子宮切開創の縫合方法が見いだせることを期待します。

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療記録、手術記録（初回帝王切開日時、帝王切開施行週数、施行理由、執刀医、子宮切開縫合法）（2回目帝王切開日時、帝王切開週数、施行理由、執刀医、前回子宮切開創部の菲薄化の程度）

#### 5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：周産期母性科 助教廣澤聡子

#### 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院内の、外部とは切り離された端末内で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

#### 7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院周産期母性科

医師 廣澤聡子

043(222)7171 内線6583